



和歌山県SSH指定校合同生徒研究発表会

和歌山県高等学校理数科教育研究会生徒発表会

親と子どものためのきらめき“夢”トーク

～ノーベル物理学賞受賞 益川敏英教授を迎えて～



12月17日(金)、和歌山県SSH指定校合同発表会(兼和歌山県理数科教育研究会生徒発表会、同時開催:親と子どものためのきらめき“夢”トーク～ノーベル物理学賞受賞 益川敏英教授を迎えて～)が県民文化会館で行われました。本校からは、環境科学科1・2年生が参加し、県内スーパーサイエンスハイスクール3校(海南高等学校・日高等学校・向陽高等学校)と理数科系専門学科のある学校間の生徒と交流しました。

開会行事後の生徒研究発表では、各校から2グループずつ発表がありました。本校からは、SS探究科学Ⅱの数学ゼミ「ポーカープログラムの作成—最適な手札の残し方—」グループと生物ゼミ「田辺湾産イソアワモチ類の生活史について」グループが口頭発表しました。

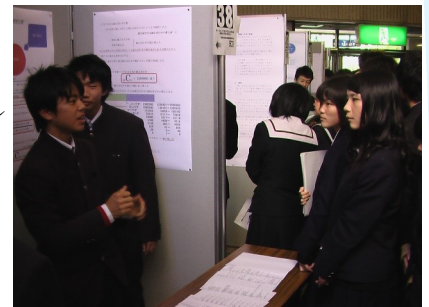
午後からはポスターセッションが行われ、各ゼミで研究しているテーマについて2年生が熱心に説明する姿や、各ブースで積極的に質問する1年生の姿が見られました。

午後2時から、2008年のノーベル物理学賞の受賞者である益川敏英教授による講演「益川流「フラフラ」のすすめ～科学のおもしろさとは～」が行われました。

閉会行事では、本校の数学ゼミ「ハノイの塔の考察」グループが優秀賞を受賞しました。

参加生徒の感想より

「最初はどう説明したら聞いてくれる人にうまく伝わるか心配でしたが、説明していくうちに慣れていきました。相手に伝わっているという手応えも感じるようになり、楽しく説明することができました。」



1年環境科学科

2010おもしろ科学まつり和歌山大会に出展

12月18日(土)・19日(日)の2日間、和歌山大学において“2010おもしろ科学まつり和歌山大会”が開催されました。本校から「ドライアイス+ジュース=?～あの“二酸化炭素”が大変身!!～」、「ぷるぷる芳香剤～高吸水性ポリマーを使って可愛い芳香剤を作ろう～」、「ウォーター・マジック～不思議!!水の色が変わったぞ!!」、「使い捨てカイロを作ろう～カイロを作ってカエロ!!～」、「-196℃の世界」というタイトルで5つブースを出展し、1年環境科学科の生徒と向陽中学生が担当しました。ドライアイスの性質を利用したシャーベットづくり、高吸水性ポリマーを用いたオリジナル芳香剤、鉄と空気中にある酸素が化学反応した時にでる熱を利用した使い捨てカイロなど、多くの方々に参加し、実験を体験していただきました。

参加生徒の感想より

「シャボン玉を浮かすのに夢中になってくれた子がいました。あきずに楽しんでくれたのでとても楽しかったです。いろいろな発見や感動があり、とてもおもしろかったです。」「色が変わったとき、子どもがとても驚いていたのでうれしかった。」「小さい子どもにも分かるように伝えるのは難しかったが、分かってくれたときはうれしかった。」「思ったより、たくさんの方が来てくれた。」「2日間、大変だったけれど、楽しかったし、よい経験になったと思います。ジュースの中にドライアイスを入れた時、コップの中が白いけむり(二酸化炭素)でいっぱいになったのを見て、興味津々で質問してくれました。」「たくさん列ができたので大変でした。自分もすごく楽しめたので、参加してよかったです。」「準備から大変なことも多く、科学まつり中はずっと立ちっぱなしの休憩なしですごく大変だけど、達成感を味わえました。」

